

令和7年度岩手県電気事業会計決算概要

○ 令和7年度の電気事業会計決算は、経常収益83億8千7百万円余に対し、経常費用は68億4千1百万円余で、経常損益は15億4千6百万円余（前年度比△13.3%）の黒字、純損益は15億4千6百万円余（前年度比△13.0%）の黒字となった。

1 令和7年度損益

(税抜、単位：千円)

科目	年度	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B)/B
経常収益		8,387,890	8,754,503	△366,613	△4.2%
経常費用		6,841,157	6,970,995	△129,838	△1.9%
経常損益		1,546,733	1,783,508	△236,775	△13.3%
特別利益		—	—	—	—
特別損失		—	(※) 6,375	△6,375	皆減
純損益		1,546,733	1,777,133	△230,400	△13.0%

(※) 包括外部監査の指摘等を踏まえ、特別損失（電話加入権の減損処理）を計上

2 経常収益の状況

国の容量市場の契約単価変動及び風車事故の影響（秋田県）による緊急点検に伴う発電停止（5～11月）等により、電力料収入が減（4億8千2百万円余）となり、前年度比3億6千6百万円余（4.2%）減の83億8千7百万円余となった。

3 経常費用の状況

仙人発電所等の水力発電設備に係る修繕費の減、胆沢第二発電所の再開発電に伴う既存施設撤去に係る除却費の減等により、前年度比1億2千9百万円余（1.9%）減の68億4千1百万円余となった。

4 経常損益、純損益の状況

以上の結果、経常損益は前年度比2億3千6百万円余（13.3%）減の15億4千6百万円余の黒字、純損益は前年度比2億3千万円余（13.0%）減の15億4千6百万円余の黒字となった。

なお、第二期中期経営計画に掲げる経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常収支比率	120%	122.6%	2.6ポイント	経営目標を達成

5 電力の供給・収入状況

区分	年度	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比較	
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B
供給電力量（千kWh）		531,825	487,844	43,981	9.0%
水力（17発電所）		483,905	428,887	55,018	12.8%
風力（2発電所）		46,439	57,275	△10,836	△18.9%
太陽光（1発電所）		1,481	1,683	△202	△12.0%
電力料収入（千円）		7,970,724	8,452,839	△482,115	△5.7%

【担当：経営総務室予算経理担当課長 金、専門幹 多賀（内線6385）】